

陸軍省公表第五一號

二月二十五日  
陸軍省新聞班

一 滿洲国政府は其国軍を以て国内治安  
回復の爲大舉熱河省内の肅清を断  
行することゝ存つた。

○ 關東軍は曰滿親善の精神に基き且曰滿  
議定書ヲ示すところに従ひ同国の崇高  
至當且壯烈なる行動に対し滿腔の  
賛意を表し茲に所要の兵力を以て  
之に協同することになつた。

○ 關東軍は滿洲国軍と緊密なる連  
絡を保持し二月上旬より諸準備に  
着手し既に之を完了し得たので本  
二十五日を期し各方面一斉に行動を  
開始し酷暑を冒し峻峻なる山地を  
越へ所在の兵匪を驅逐しつつ熱河  
省内に進軍中である。

○ 二月二十一日早川部隊は千餘の敵を一  
撃攘し北票を完全に占據し北票

支線を確保した。

四二月二十四日滿洲国軍の一部隊は開魯を急襲占據し吹雪の中に城頭高く新五色旗を翻した。今軍は續いて進軍を續けてゐる。

五敵軍内部には動搖の徴も然たるものがあつて劉柱堂軍二万は二月二十日逸早く及張通電を奔し滿洲国に帰順し今次討伐に参加してゐる其他各方面に投降し来る部隊多数ある見込。

六関東軍並滿洲国將兵は意氣衝天の概があり其連絡亦頗る固密緊密であつて未だ各方面共敵軍と真面目の衝突は見ないが戦はずして既に赫赫たる勝利を確保してゐる。